

関東学院大学と(公財)横浜企業経営支援財団が連携協定を締結し、 横浜市内経済の活性化と地域社会の発展に向けて取り組みます！

関東学院大学（横浜市金沢区 学長：小山 厳也）と公益財団法人横浜企業経営支援財団（横浜市中区 理事長：菅井 忠彦）（以下 IDEC 横浜）は、2023 年に開設した関東学院大学横浜・関内キャンパスと IDEC 横浜の本部である横浜情報文化センターが近距離であるという利便性をいかし、双方のもつ知的、人的、物的資源を有効活用することにより、地域経済の活性化および地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、2024 年 12 月 11 日（水）に連携協定を締結しました。

1 連携協定締結に至った経緯

関東学院大学と IDEC 横浜は、これまでも同大学発ベンチャーの経営支援や、インターンシップ生の受入などにおいて連携を進めてきました。近年は特に、地球温暖化に伴う環境問題が顕在化するなか、中小企業等にもカーボンニュートラルに向けた具体的な取り組みが求められているため、横浜市内の中小企業等が抱える経営課題やニーズを把握する IDEC 横浜と、産学連携を推進し、多彩な研究活動を行う関東学院大学が相互の資産を活用することで、環境技術や再生可能エネルギー分野などでのイノベーションを促進することも期待されます。

このため、今回両者で包括的な連携協定を締結するとともに、具体的な取り組みによって中小企業支援を推進していくこととしました。

これら取り組みの第一弾として、2025 年 3 月 14 日（金）に、カーボンニュートラルに関する共同シンポジウムを開催します。

2 協定内容

- （1）研究成果等のシーズと地域企業のニーズとのマッチングに関すること
- （2）地域企業等の新事業創出に関すること
- （3）産学連携による地域経済の活性化に関すること
- （4）施設・設備の共同利用に関すること
- （5）その他、上記の目的を達するために必要な協力に関すること

3 協定締結後の具体的な取組(予定)

- （1）横浜市内企業のカーボンニュートラルに向けた産学連携の推進
- （2）生成 AI を活用した産学連携マッチングに関する実証実験
- （3）関東学院大学の学生のインターンシップ受け入れ・協力
- （4）IDEC 横浜が実施する各種講座・研修等への教員派遣
- （5）関東学院大学の研究者と横浜市内企業との定期的な意見交換会の開催
- （6）IDEC 横浜が実施するセミナーやイベント等への事業協力

4 協定締結式

日 時	2024 年 12 月 11 日（水）15:00～17:00
場 所	関東学院大学 横浜・関内キャンパス

締結式の様子



【参考 1】

■ 関東学院大学の概要

1884 年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949 年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の 11 学部を設置する総合大学。

学生数 10,968 名（2024 年 5 月現在）

◇学長 小山 厳也

【参考 2】

■ (公財)横浜企業経営支援財団の概要

IDEC 横浜は、横浜市長から指定を受けた市内唯一の「中小企業支援センター」（2004 年に指定・認定を受ける）。

創業者や市内中小企業者・小規模事業者のニーズに応じ、施策紹介をはじめ、相談事業、専門家派遣事業、情報収集・提供事業、講習会等開催事業などを実施している公的支援機関。

◇理事長 菅井 忠彦

お問合せ先

公益財団法人横浜企業経営支援財団

経営支援部長

加藤 盛司

Tel045-225-3733

関東学院大学

広報課

丸山 のどか

Tel045-786-7049